

ふるさととくぢ



心々

体々

ホッホッホ

3月6日とくぢ石風呂祭り開催

岸見、二の宮、重源の郷、自然の家の石風呂などとお接待で地域活性化

目次

- 里山だより・歴史と民俗…2P
- とくぢで輝く・見てえーね聞いてえーね来てえーね…3P
- 行政だより・フォトギャラリー…4P
- 行事カレンダー・地域拠点だより…5P
- こんにちは! 赤ちゃん
- 徳地学校めぐり…6P



(2016年3月末現在)





表紙の写真から

山口市地域おこし協力隊 船瀬春香さん 千々松友之さん



船瀬さんは東京からの移住で生活が一変。冬は寒く、雪が降り、気が滅入ってしまったものの、今は、自然を身近に感じ、山や川がキラキラ輝き、春を感じる感動の日々。毎日が学びの場で、新鮮で濃い生活をしています。

「徳地手漉き和紙」をどう伝えていくかを考えています。工程すべてが手作業であることを楽しく理解してもらい、販売につなげたい。徳地和紙が埋もれることがないように写真や文章に書き記し、後世に伝えられるようにしたい。

一方、千々松さんは、生まれ育った町に帰ってきて、親の後を継ごうというのですから、協力隊の仕事・紙漉きを覚えることと農業（たんぼ）の両立が大変だったとか。

今は一通りのことはできるようになり紙漉きが少しわかってきただけに将来が不安・・・大丈夫かな・・・と。

徳地だけで生きていけるほど甘くはないが、東京などの都会へ進出すれば、それだけ競争相手も多い。さらには海外展開へと夢は広がるものの、不安も計り知れない。それでも若い二人が歩き出したこの道を徳地から支援していき、明るい光を灯しましょう！



(取材：徳地づくり達人塾、池田特派員)



石風呂祭りで芯からほっこり

3月6日（日）に開催された、第3回とくぞ石風呂祭りに周辺地域からもたくさんの方が訪れ、石風呂や温泉、そして地域の人達のお接待に心も体も温まりました。中には2年連続で福岡から来た3人グループも。新幹線に乗ってレンタカーを借りて・・・お接待がとても嬉しかったそうです。地域おこしの原点は、旅人と地元民のふれあいにあるそうですね。

(取材：粟屋特派員、池田特派員、徳地づくり達人塾)



猿田彦大神・地蔵菩薩
所在地 串字本折
島地からの県道と山畑からの市道の合流点から登り坂を左に曲がり、平らになる所の左側に「臨済宗建仁寺派・五臺山本光寺。文殊大土霊場」の標柱がある。そこから本光寺へと行く参道の左側にある。

猿田彦大神（文字塔）
像高 五七センチ余
像最大幅 二〇センチ
厚さ 一四センチ
地蔵菩薩
像高 八五センチ余
蓮座高 一八センチ
台座 三〇センチ
台座正面に、三界萬霊。右に明和元甲申、左に九月廿四日の銘がある。

余の自然石の三界萬霊塔がある。



【路傍の信仰 二十五】

五臺山本光寺・文殊大土霊場は、本堂より西側の一段高い所にある。重源上人に三度の入宋（中国）で真言密教の最も重要な聖地として、また文殊信仰の中心地であった五臺山へ参詣しているところから、この地に五臺山文殊堂が建立されたと考えられる。



三界とは、三有（さんぬ）ともいう。欲界、色界、無色界、三つの総称であって、一般には全世界の意である。本光寺から県道に出て東、安養地方方面に進むと中国自動車道の陸橋が見え、陸橋をくぐる手前の串川橋を渡ると古道の五〇センチ余りの石垣の上にある。

猿田彦大神（文字塔）
像高 一〇〇センチ余
像最大幅 四九センチ
台座高 七センチ
地蔵菩薩
像高 九五センチ
蓮座高 一九センチ
台座高 三七センチ
基壇は割石の二段重ねで四〇センチ余

台座にある銘は摩滅がひとく正面の法界と左側の廿四日とが読める。右手の錫杖の杖はないが、錫杖頭が残っているのは貴重である。

とらで輝く

お神輿の復活から35年

関・才谷『昭和会』の皆さん



■天神祭りの『裸坊』を復活しよう！

徳地のまつりがどんどんさびれていくのは、何も最近のことだけではありません。今も関・才谷から堀の町やコメリ・丸久といったお店まで裸坊が練り歩くことで有名な北野天満宮のお神輿やお網代も、長く中断していた時期がありました。

その頃の関・才谷の人々の中から復活させようじゃないかという声に立ち上がった若者たちがいました。35年ほど

も前のことです。その若者たちが数年後、『昭和会』というグループへとまとまり、今へつながっています。

■お接待の主役は男たちだ！

平成27年度の会長中村守さん（60）によると、この会は毎年、会長が交代し、会運営を経験する人を増やし、より多くの人の意識高揚に活かしている。但し、若い人には負担をかけないよう配慮していると言います。

昭和会の面々が活躍するのは、北野天満宮祭りだけではなく、出雲地区の夏祭り、防府高校佐波分校敷地内で開催される地区の夏祭り、新年の迎え火などいくつものイベントを盛り上げています。

面白いのは、長年の経験の中から、うどん、焼き鳥、きままんじゅうなどのお接待も



すべて男たちがやっていることです。ともすると、そうした場面では女性陣に頼りがちですが、このグループの男たちは家庭に迷惑をかけないようという配慮もあるようですね。女性は子供たちの世話に専念できるわけです。

■地域外へも広がる地域の祭り

御多分に漏れず、神輿やお網代で町を練り歩くには最低20人、できれば30人必要です。地域だけではこの人数を集めることはできません。そこで、彼らは消防団や若い人の仲間など口コミで集めています。地域の祭りは、もう地域だけのものではないことを実感します。

子供神輿、裸坊、神輿、お網代は復活継続しています。が、残念ながら長持道中、花みこは中断しています。いつか写真の嫁入り道中のような風景が復活したら、盛り上がるだろうな・・・と夢見てしまっています。

（取材：徳地づくり達人塾

池田特派員）



新緑、若葉の山々に癒されて

4月の後半から5月の前半は、「若葉の季節」。誰もが気持ちも若返り、お出かけしたくなりま

■徳地の三大縁日

2月18日の庄方観音様（法華寺）の後は、4月26日（火）の串の文殊様（本光寺）、5月5日（木・祝）には上村のお薬師様（月輪寺）と、徳地三大縁日のうち、2つが開催されます。

■袖山ウォーク・歩こう大会in三谷

5月5日（木・祝）は、三谷の『愛の藤橋』から重源上人ゆかりの袈裟岩堂まで歩き、帰りは寿福院まで。みんなで袖山ウォークを楽しみませんか。

（徳地づくり達人塾）



行政犬より

第12回さわやかウォーキングin串

棚田のある鯖方面へ歩きます

- ◎開催日 4月29日(祝・金)
- ◎受付 9:40~10:00
- ◎集合場所 徳地地域交流センター串分館
- ◎参加料 大人500円
3歳以上小学生以下300円
- ◎その他 昼食は炊き込みご飯と豚汁を用意します

申込先・問合せ先 串分館 ☎54-0222

佐波川水系水質検査を実施しました

佐波川の清流を保全し、後世に引き継ぐことを目的に制定された「佐波川清流保全条例」に基づき、平成28年2月1日に佐波川と島地川の6地点で水質検査を実施しました。

今回の調査結果については、総務課で閲覧できます。

問合せ先 総務課総務担当 ☎52-1111

フォトギャラリー



山根八幡宮の桜

(取材：池田特派員)

徳地山村開発センター及び各分館での 公衆無線LANサービスについて

徳地山村開発センター
及び各分館の施設内で公
衆無線LANサービスが利
用できるようになりました。

生涯学習活動や災害
時の情報収集などで利用いただけます。利用方法な
ど詳細については、職員までお尋ねください。



【徳地の石風呂】に保存会が2つ!

800年以上前の重源上人時代から続く徳地の石風呂
を守る2団体が結成します。

国指定の岸見の石風呂は有名ですが、二の宮の石
風呂は多くの方が知りませんでした。3月6日(日)
に開催されたとくぢ石風呂まつりを前に、岸見と二
の宮の石風呂を維持継承しようと立ち上がった地域
の人々がいます。

石風呂の検査や施設の修理なども含めて、地域資
源を活かした活性化を目指す彼らの活動を応援した
いですね。



岸見の石風呂、検査中



二の宮石風呂、修理中

(取材：池田特派員)

行事カレンダー

(4月15日～5月15日)

4月	17日	セラピーロード自然観察～春の森の妖精さがし～ (問) 森の案内人の会事務局 (徳地農林振興事務所内) ☎52-1122
	19日	憩いステーションとくち (問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
	20日	認知症者を支える家族の会 (問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
	24日	出雲地区ラジオ体操・ウォーキング (問) 出雲地域づくり協議会 ☎52-0217
5月	5日	歩こう大会 in 三谷 (問) 八坂分館 ☎56-0301
	11日	母子健康相談 (問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
	12日	定例健康相談・介護予防相談 (問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
	15日	森フェス～森林セラピー 春の祭典～ (問) 森の案内人の会事務局 (徳地農林振興事務所内) ☎52-1122

子育て支援センター すくすくハウス予定 ☎52-0662

- 4月 19日(火) リズムで遊ぼう!
- 22日(金) お誕生会
- 26日(火) 鯉のぼりを作ろう
- 5月 13日(金) お散歩に行こう!!

毎週火・木・金に楽しい遊びを用意しています。お子様とゆったりされ、一緒に遊ばれませんか? 子育ての相談や悩み、おしゃべりも是非どうぞ。

島地保育園内子育て支援室 のびっこ島地予定 ☎54-0563

- 4月 15日(金) はじまりの会
- 19日(火) 戸外遊び
- 22日(金) せいさく遊び(こいのぼり)
- 5月 10日(火) おさんぽしよう
- 13日(金) 戸外遊び
- 17日(火) 戸外遊び

休 図書館 4月 / 18・25・28・29
休館日 5月 / 1・2・3・4・5・9

🍒 こんにちは! 赤ちゃん 🍒



やまとがんだ
☆山本貴太くん【八坂地区】
☆年齢：0才9ヶ月 (写真撮影時)
☆性別：男の子
☆好きなもの：動物・おむすび

よくママの子に間違われますが、とっても力持ちで、わんぱくな男の子です。たくましく元気に育ってね!

地域拠点だより

「ふるさと再発見講演会」

3月13日(日)、出雲地域づくり協議会社会教育文化部会(部長:津田 ます子)主催の「ふるさと再発見講演会」が、徳地山村開発センター大集会室で開催されました。

ふるさと徳地における幕末維新の歴史について、徳地幕末維新歴史放談の会会長の山田文雄様から、ご講演をいただきました。講演終了後は、軽食を食べながら参加者同士の交流、歴史談義がされていました。

(徳地地域づくり協議会)



+ 休日・夜間診療のご案内(防府市内)

* 山口市内は市広報に掲載しています。どちらも利用できます。

【内科・小児科】(受付 8:30～11:30、13:00～16:30)

防府市休日診療所(鞆生町) ☎0835-24-4172

【歯科】(受付 8:30～11:30)

防府市休日診療所(鞆生町) ☎0835-24-4172

【外科】当番医療機関(診療 9:00～17:00)

- 4月 17日(日) くらしげ整形外科クリニック(田島) ☎25-0076
- 24日(日) 黒田クリニック(田島) ☎24-9090
- 29日(金) しみず医院(栄町) ☎38-8883
- 5月 1日(日) たかきクリニック(台道) ☎33-1050
- 3日(火) 三田尻病院(お茶屋町) ☎22-1110
- 4日(水) 松本外科病院(天神) ☎22-1409
- 5日(木) 防府胃腸病院(駅南町) ☎22-3339
- 8日(日) ながみつクリニック(中央町) ☎20-1230
- 15日(日) 緑町三祐病院(緑町) ☎22-3145

【夜間救急病院】(平日、土日にかかわらず)

病院名(場所)	電話番号	4月・5月の開設日												
防府胃腸病院(駅南町) ☎22-3339		15	20	25	30	5	10	15						
桑陽病院(車塚町) ☎23-1781		16	21	26	1	6	11							
緑町三祐病院(緑町) ☎22-3145		17	22	27	2	7	12							
三田尻病院(お茶屋町) ☎22-1110		18	23	28	3	8	13							
松本外科病院(天神) ☎22-1409		19	24	29	4	9	14							

徳地学校めぐり

島地小学校「3・11 教訓を生かして」



東日本大震災の発生から5年を迎えた平成28年3月11日、島地小学校では大規模地震と土砂災害を想定した避難訓練を行いました。

今回の訓練は、20分間の休み時間に実施しました。いつもの訓練は授業中で先生が指示をしてくれますが、休み時間なのでそうはいきません。ある子は、外に出て楽しく遊んでいました。ある子は、体育の学習に備えて体操服に着替えていました。またある子は、トイレに行っていました。

そんな中突然「訓練地震警報。周防灘で地震が発生しました。…」という放送と30秒間にわたり地震の効果音が流れました。地鳴りの音、ガラスが割れる音、何かが倒れる音……。さっきまでにぎやかだった校内は、しんと静まり返っています。運動場では真ん中に集まって頭を手で守ってしゃがんでいる子ども達。教室の中では机の下に身を隠している子ども達。みんな、真剣そのものです。

しばらくして、揺れがおさまったので運動場に避難するように指示を出しました。誰もしゃべる者はいません。素早く避難場所に集まってきます。約2分後、全員無事に避難できました。

しかし、ほっとしたのも束の間。学校の裏山が崩れる可能性がある、校務事務の先生が伝えに

来ました。そこで徳地地域交流センター島地分館への2次避難を開始します。6年生は1年生を両側からはさんで守りながら、5年生も2年生の手をしっかりと握って、3・4年生は互いに手をつないで分館を目指します。日差しはとても暖かでしたが風は冷たく、皆、緊張の面持ちで足早に歩いて行きます。

その後、分館で反省会を開き「地震が起こったときや避難するときに大切なこと」をみんなで話し合いました。4年生の女の子は「早く判断して、どうすればよいかを考える。」2年生の男の子は「黙って放送を最後まで聞いて、言われたとおりにする。」3年生の男の子は「すぐに飛び出さないで頭を守って、安全な場所でしゃがむ。」そして、6年生の女の子は「上学年は下学年のお世話をする。」と言いました。どの子も、これまで学んできたことをしっかり覚えています。

最後に、校長先生から「いざという時に安全に避難するためには、訓練に真剣に取り組むことが大切。」というお話がありました。

たくさんの方が犠牲になられたこの日、その方々に哀悼の意を表するとともに、残していただいた教訓を生かして大変有意義な訓練を行うことができました。



(島地小学校 教頭 淵上こずえ)